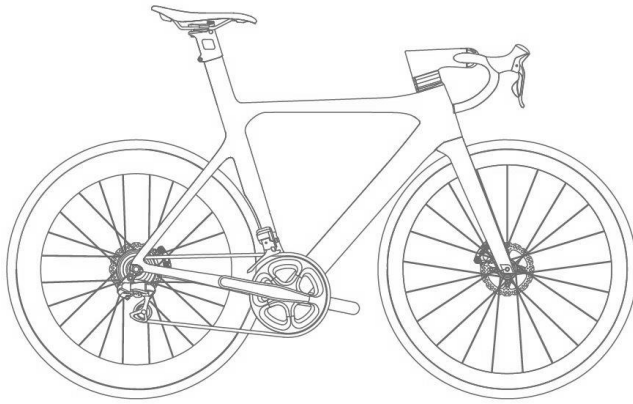


目次

1	紹介	2
2	このマニュアルの使用目的	2
3	注意事項.....	2
4	炭素繊維複合自転車のお手入れ.....	3
5	OVERDRIVE 2 ヘッドセットに関する手順	4
6	炭素繊維複合フロントフォーク	5
7	統合型シートポスト（ISP）およびサドルポスト	6
8	サドルオフセットの調整（ISP）	9
9	VECTOR シートポストおよびシートクランプ（非 ISP）	10
10	電源コートプレスフィット下部ブラケット	13
11	ケーブル配線部品	15
12	フレーム技術データ	16

1 紹介



新しいGiant高性能ロード用自転車（ディスクブレーキ付）をご購入いただき、誠にありがとうございます。お客様の安全を確保し、新しい自転車を心ゆくまでお楽しみいただくため、必ず本マニュアルをお読みください。サービスおよび技術支援の最良の提供者は、お近くのGiant販売店です。販売店を検索する、または、Giantに関する詳細については、giant-bicycles.comにアクセスしてください。

2 このマニュアルの使用目的

このマニュアルは、新しいPropel ディスクシリーズ自転車に使われている技術やカスタムコンポーネントにお客様に慣れていただくための参照ガイドとなることを意図しています。このマニュアルに記載されている一部の技術は、特定の自転車には該当しない場合があります。ご質問がある場合は、お近くのGiant正規販売店にお問い合わせ下さい。このマニュアルは、一般的な自転車の取扱説明書またはご利用の自転車に付属する部品メーカーの技術マニュアルの置き換えを意味するものではありません。

3 注意事項



警告： 新しい自転車に乗る前に、必ず、このマニュアルの警告と手順を完全に読み理解してください。すべての自転車が、すべての活動のために作られている訳ではありません。Giant 認定販売店が、ご利用の自転車の使用目的を明確に説明します。



警告： 自転車の組立は、複雑な作業であり、訓練と経験が必要です。サポートおよび取り付けについては、Giant認定販売店をご利用ください。この警告に従わないと、自転車が故障したり、重大な怪我または死亡につながる恐れがあります。



注意： Giantの製品は、適切な工具を使って、資格のある自転車整備工により取り付けが行われる必要があります。緩すぎる又はきつく締めすぎたボルトは、故障を引き起こす恐れがあります。Giantは、不適切に取り付けられた製品に対して責任を負いません。

4 炭素繊維複合自転車のお手入れ

Propelディスクシリーズ自転車は、世界チャンピオンにより使用されるプログレードのフレーム技術を搭載しています。これらのフレームは、最先端の材料、技術、構築方法を用いて手作業で作られています。

炭素繊維複合部品は金属部品とは異なります。したがって、炭素繊維複合部品に対する取扱も異なります。

1. 鋭いエッジまたは過度の圧力避ける

鋭いエッジまたはクランプ機構は、応力負荷あるいは高圧点を作り出すことにより、炭素繊維複合材料を損傷する恐れがあります。炭素繊維複合部品を取り付ける前、あるいは、既存の炭素繊維複合部品にコンポーネントを取り付ける前に、これらの手順に従い、部品またはコンポーネントに炭素互換性があることを確認してください。

チューブを絞るとき、チューブ内に動きを感じることは、通常であり、フレームの強度の反映ではありません。しかし、チューブの両側を繰り返し圧縮することにより、最終的にフレームの損傷につながる恐れがあります。フレームチューブを絞らないでください。カーラックを含む機械的装置でチューブをクランプしないでください。

2. 炭素繊維複合部品を取り付ける前の清掃

金属部品の接合部の一部には、クランプ面の腐食を防ぐためグリースが使用されます。調整するときは、常に、ボルトのネジにグリースを塗布してください。グリースは腐食を減らし、そして、工具を損傷することなく、正しい締め付けを行うことができます。

しかし、ほとんどの炭素繊維複合部品については、グリースの使用を避ける必要があります。クランプされる炭素繊維複合部品にグリースが適用されると、推奨トルク仕様でも、クランプ内で部品が滑ることがあります。炭素繊維複合部品は、清潔で乾燥した状態で組み立てる必要があります。Giantが推奨する特殊炭素繊維複合調製製品については、Giant認定販売店にお問い合わせ下さい。

3. フォーク、フレームまたはコンポーネントを変更しないこと

Propel ディスクシリーズフレームセットの部品は、安全な走行のための強度要件と機能要件を満たすために精密に設計されています。如何なる方法でも、これらの部品を変更すると自転車の安全性が低下します。このマニュアルに図示される変更は、Giant認定販売店のみにより行われる必要があります。例えば、ISPの切断などです。

ロード用自転車フレームにサスペンションフォークを使用しないでください。これは、フレームに応力を加え、損傷させる恐れがあります。フォークの形状および/または長さを変更しないでください。フォークがフレームに互換性があるかどうかについて不明な場合は、Giant認定販売店にお問い合わせ下さい。フレーム、フォークまたはコンポーネントの変更は、その自転車が当社の仕様を満たさないことを意味します。したがって、自転車に対する保証は無効になります。

4. 炭素繊維複合製品を常時高温に曝さないこと

炭素繊維複合製品の損傷を避けるため、常に製品を高温に曝す方法で、保管または輸送しないでください。過度な熱は、炭素繊維を結合する樹脂を損傷する恐れがあります。Giant は、例えば、排気口、ヒーター、裸火などの熱源から製品を 45 センチメートル以上離すことをお勧めします。炭素繊維複合製品を 65°C (150°F) 以上に曝さないでください。

5 OVERDRIVE 2 ヘッドセットに関する手順

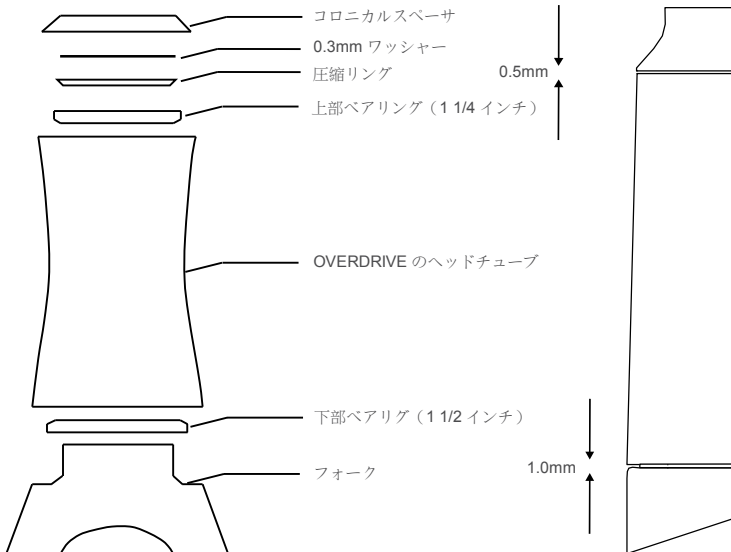
Propel ディスクブレーキは、OverDrive 2 を搭載し、重量を増やすことなく、これまでにない操舵性能を実現します。OverDrive 2 ヘッドセットは、強力な 1 1/4 インチ上部ベアリングと 1 1/2 インチ下部ベアリングを搭載し、ねじれ操舵剛性を 30 パーセント向上させました。

ヘッドセットを組み立てた後、以下の間にいくらかの遊びがあることを確認してください：

- フォーククラウンとヘッドチューブの下部の間
 - ヘッドチューブの上部とコロニカルスパーサの間
- したがって、ハンドルは、抵抗なく自由かつ簡単に回すことができます。

最小隙間値はありませんが、推奨値のみがあります：

- 上部隙間：0.5mm
- 下部隙間：1.0mm



OverDrive 2 技術の詳細については、Giant のウェブサイト (giant-bicycles.com) にアクセスしてください。

6 炭素繊維複合フロントフォーク

操舵チューブ

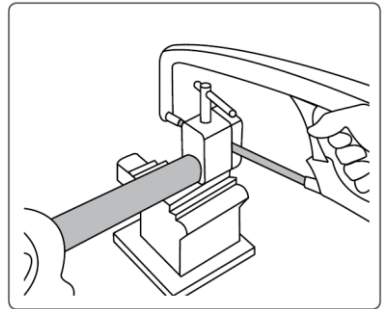
Propelディスクフォークの操舵チューブは、軽量化と剛性の最適化のため、炭素繊維材料で作られています。

ハンドルの長さをお客様の好みに合わせて変更する場合は、Giant 認定販売店にお問い合わせ下さい。お客様が、資格のある専門の自転車整備工である場合は、次の手順に従ってください：



注意：

1. ハンドルチューブを切断するときは、必ず、細かい刃の弓のこをつかってください。刃の質が悪いと、ハンドル材料を損傷する恐れがあります。
2. フォークを平らで安定した面の上に置きます。切断の際、専門ののこぎりガイドを使用します。2回測定し、1回で切断します。
3. 8Nmを超えるトルクで炭素繊維複合ハンドルを締め付けしないでください。締め付ける力が強すぎると、ハンドルチューブを損傷する恐れがあります。
4. ハンドルの切断には、専門ののこぎりガイドを使用する必要があります。例：ParkToolオーバーサイズ調整式のこぎりガイド。



フォーク構造

フォーク安全タブを削り取ったり、フォーク構造内に穴を開けないでください。



警告： フォークは、性能を最適化するために設計されています。穴を開ける又は削ることにより、フォークを変更しないでください。変更は、フォーク構造に影響を与え、損傷します。これにより、重大な怪我または死亡につながる恐れがあります。



警告： フレーム、フォークまたはコンポーネントの変更は、その自転車が当社の仕様を満たさないことを意味します。したがって、自転車に対する保証は無効になります。

7 統合型シートポスト（ISP）およびサドルポスト



警告： 次の手順に従わないと、保証が無効になり、ISP に対する隠れた損傷につながる恐れがあります。ISP に対する損傷は、構造の整合性の損傷を引き起こし、重大な怪我または死亡につながる恐れがあります。

適切なサドル高さは、自転車において最高の性能と快適さを経験するために不可欠です。正しいサドル高さを達成するために、ISP を特定の長さに切断することが必要となる場合があります。ISP の切断は、訓練と経験を必要とする複雑な作業です。ISP の切断については、Giant 認定販売店に依頼してください。

ISP の切断手順

ステップ1：切断する長さの決定

付属のクランプ機構を使って、サドルをシートポストに取り付けます。サドルを水平位置に配置し、切断する長さを決定します。

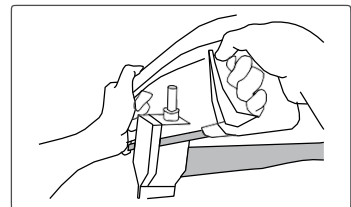
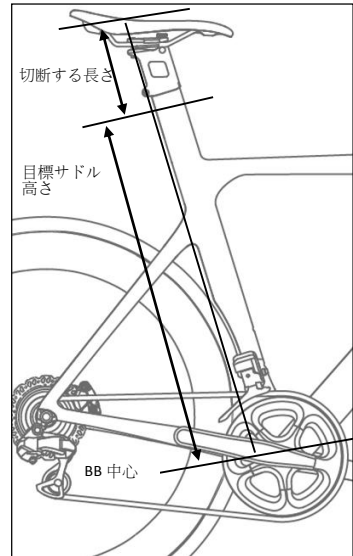


注意： サドル高さ調整の追加範囲（付属スペーサを利用）により、ISP 切断後に微調整を行うことができます。



警告： 最終切断長さが、最大切断長さ制限を超えないようにしてください（以下の表を参照）。この制限を超えて ISP を切断すると、シートクランプの取り付けが不安定になり、ISP の構造的故障を引き起こす恐れがあります。

フレームサイズ	最大切断長さ
XS	95mm
S	95mm
M	95mm
M/L	95mm
L	95mm
XL	95mm



ステップ2：切断のための分解

サドルクランプのボルトを緩め、サドルを取り外します。

ステップ3： シートポストの切断

注意： シートポストの切断には、専門ののこぎりガイドを使用する必要があります。 例： Park Tool オーバーサイズ調整式ののこぎりガイド。



注意： 細かい刃（32刃）ののこぎりを使って、炭素繊維のほつれを避けてください。 切断処理を行うときは、炭素繊維複合部品が割れないに注意してください。



警告： 必ず、メガネ、グローブ、防塵マスクなどの適切な安全装置を着用してください。 埃を吸い込まないようにしてください。

- ・ フレームを清潔な面の上に置き、接触点に清潔で柔らかい布を使って、仕上げを保護してください。
- ・ のこぎり切断ガイドを希望の切断位置に正確に配置します。
- ・ 必ず、測定を2回確認してください。 2回測定し、1回で切断します。



注意： ISP を切断した後、フレームをサドル高さより高くすることはできません。 測定が正しいことを確認し、必ず、正確に切断してください。

ステップ4： 切断後をきれいにする

のこぎりガイドを取り外し、慎重に紙やすりを使ってバリを取り除きます。 湿らせたぼろ布を使って埃を取り除き、直ちに廃棄します。

ステップ5： サドルクランプの組立

ISP の上にサドルクランプを取り付け、クランプシートポストのボルトを標準トルク値まで締め付けます。

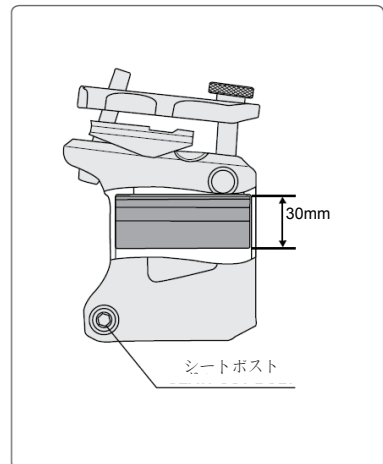


注意： IPS またはサドルクランプの内側にグリースを塗布しないでください。

- ・ サドル高さの調整または修正
サドル高さをワッシャーを使って修正することができます。



警告： ワッシャーを使うことなく、または、30mm より大きいワッシャーを一使って、シートクランプを上へ上げないでください。 これにより、ISP の損傷につながる恐れがあります。 ISP の故障は、重大な怪我または死亡につながる恐れがあります。



次の表に従い、適切なワッシャーの組み合わせを決定してください：

		ワッシャー						
		1 mm	1 mm	3 mm	5 mm	10 mm	10 mm	10 mm
ね ね	1	1						
	2	1	1					
	3			1				
	4	1		1				
	5				1			
	6	1			1			
	7	1	1		1			
	8			1	1			
	9		1	1	1			
	10					1		
	11	1				1		
	12	1	1			1		
	13			1		1		
	14	1		1		1		
	15				1	1		
	16	1			1	1		
	17	1	1		1	1		
	18			1	1	1		
	19		1	1	1	1		
	20					1	1	
	21	1				1	1	
	22	1	1			1	1	
	23			1		1	1	
	24	1		1		1	1	
	25				1	1	1	
	26	1			1	1	1	
	27	1	1		1	1	1	
	28			1	1	1	1	
	29		1	1	1	1	1	
	30					1	1	1

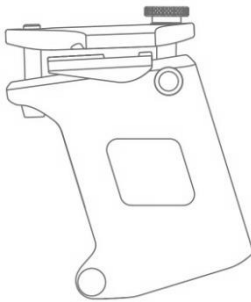
8 サドルオフセットの調整 (ISP)

サドルクランプは、前向き又は後ろ向きに組み立てることができます。したがって、+5mmまたは-15mmの位置を補償することができます。

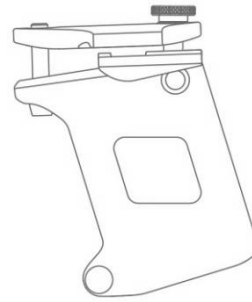


警告： サドルクランプは、図に示すように組み立てる必要があります。クランプが位置合わせされていない場合、サドルを損傷する恐れがあります。これによりシートポストが損傷する可能性があります。シートポストの故障は、重大な怪我または死亡につながる恐れがあります。

オフセット： -15mm



オフセット： +5mm

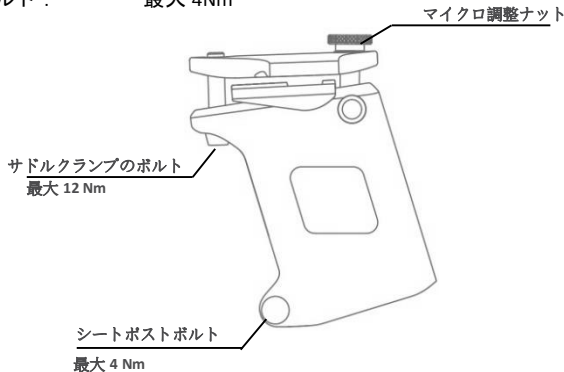


ISP システムのトルク値



警告： 緩すぎる又はきつすぎるボルトは、サドルクランプの効果を失わせる恐れがあります。最大トルク値を超えないようにしてください。ボルトを強く締め付けすぎると、コンポーネントまたはフレームが損傷する可能性があります。これにより、重大な怪我または死亡につながる恐れがあります。

サドルクランプのボルト： 最大 12Nm
シートポストのボルト： 最大 4Nm



9 VECTOR シートポストおよびシートクランプ (非 ISP)

Giant Vector シートポストは、軽量、空気抵抗性能のために Giant コンポジット技術を使って構築されています。最高の走行体験と適切なサドル高さを実現するためには、シートポストの切断が必要となる場合があります。



警告

- ・ シートポストの切断は複雑な作業であり、専門の自転車整備工が行う必要があります。
- ・ シートポストを正しく切断する自信がない場合は、Giant認定販売店にお問い合わせください。
- ・ 次の手順に従わないと保証が無効になり、フレームおよび/またはシートポストが損傷する可能性があります。これにより、重大な怪我または死亡につながる恐れがあります。

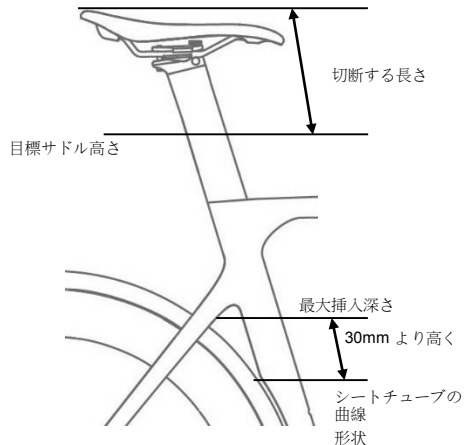


注意： 最終取り付けには、炭素組立接着剤を使用し、シートポストの滑り落ち、フレームの損傷を防止してください。また、フレームとシートポストの間の摩擦により亀裂を防止することができます。

シートポストの切断手順

切断する長さの決定

1. サドルを Giant Vector シートポストに取り付け、サドルを水平位置に調整します。
2. シートポストを上下に調整し、正しいサドル高さを決定します。シートポストがフレーム内部のシートチューブの曲線部に当たるため、サドルを適切に適合させるために十分下に下げることができない場合、シートポストを切断する必要があります。
3. シートポストが背面から前面に下向きに下がるように、シートポストを 45 度の角度で切断する必要があります。シートポストがフレーム内で非常に下に押し込まれている場合、これにより、フレームの損傷を防止することができます。



注：元の状態では、フレームサイズに対するシートポストの長さは次の通りです：

フレームサイズ	最大サドル高さ (mm)	最小サドル高さ (mm)
XS	790	710
S	830	720
M	850	730
M/L	875	750
L	905	765
XL	925	765

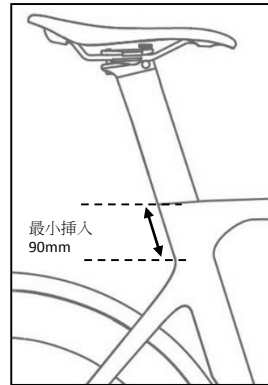
必要とするサドル高さが上の表の最小サドルよりも低い場合、元の状態からシートポストを切断する必要があります。

注：最大シートポスト挿入深さは、シートチューブ曲線部よりも 30mm 上です。自転車で走行中、シートポストがシートチューブ曲線形状に達しないようにしてください。



警告：

- ・シートポストをシートチューブに挿入するときは、ゆっくりと慎重に行ってください。下向きの力をかけ過ぎると、フレームおよび/またはシートポストが損傷する恐れがあります。
- ・Vectorシートポストの最小挿入深さは90mmです。シートポストを切り過ぎないようにしてください。シートポストを切断する前に正確に測定する必要があります。
- ・自転車走行中にシートポストがシートチューブ曲線形状に達すると、フレームが損傷します。



シートポストの切断

1. シートポストを切断するときは、専用ののこぎりガイドと細かい刃ののこぎりを使用することをお勧めします。
2. のこぎり切断ガイドを希望の切断位置に正確に配置します。必ず、測定を2回確認してください。

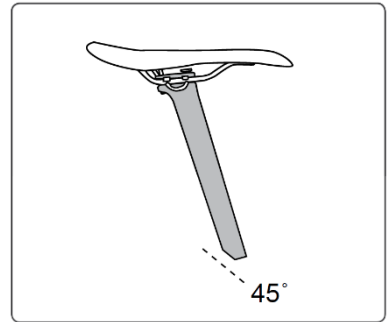
6. シートポストを背面から前面に下向きに下がるように、シートポストを 45 度の角度で切断します。シートポストがフレーム内で非常に下に押し込まれている場合、これにより、フレームの損傷を防止することができます。



注意： 細かい刃（32 刃）ののこぎりを使って、炭素繊維の損傷を避けてください。



警告： 必ず、メガネ、グローブ、防塵マスクなどの適切な安全装置を着用してください。埃を吸い込まないようにしてください。



7. 切断箇所を慎重にきれいにします。



注意： 切断処理を行うとき、炭素繊維複合部品を割らないようにしてください。

8. のこぎりガイドを取り外し、慎重に紙やすりを使ってバリを取り除きます。paper. 湿らせたぼろ布を使って埃を取り除き、直ちに廃棄します。
9. サドルをシートポストに取り付け、目標サドル高さを再確認します。

Vector シートポストクランプ

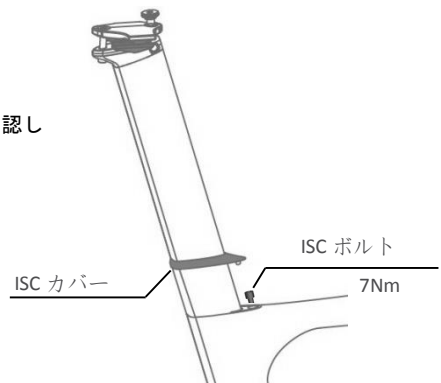
シートクランプシステムは、フレームとの最適な統合を提供し、また、Vector シートポストを用いて、より良いクランプを提供します。

取り付け：

1. 取り付け前にシートポストの長さが正しいことを確認します。
2. ISC カバーをシートポスト上に配置します。
3. シートポストをフレームに挿入し、ボルトを締めます。
4. ISC カバーをフレーム上に配置します。



警告： ボルトを標準トルク値（7Nm）で締め付け、シートポストの損傷または滑り落ちを防止してください。



10 電源コートプレスフィット下部ブラケット



警告：

- ・ フレームを変更しないでください。下部ブラケットシェルを上塗り、研磨または切断しないでください。変更は、下部ブラケットの接合部に影響を与え、保証が無効になります。
- ・ これらの手順に従わないと、炭素繊維複合フレームの隠れた損傷につながる恐れがあります。フレームセットの損傷は、構造の整合性を失い、重大な怪我または死亡につながる恐れがあります。



警告： BB アダプタの取り付け又は取り外しは、誤動作を引き起こし、重大な怪我または死亡につながる恐れがあります。



注意： 異なる種類のプレスフィット BB アダプタがあります。使用する BB アダプタを選択する前にメーカーに確認してください。BB アダプタが適合しない場合、重大な怪我につながる恐れがあります。

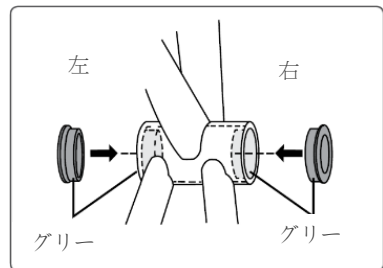


注意： 適切な取り付けのみが、フレームセットの最高の性能と快適さをもたらします。プレスフィット BB アダプタの取り付けは、訓練と経験を必要とする複雑な作業ですので、Giant 認定販売店のみが行う必要があります。

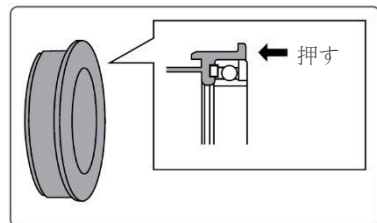
取り付け

ステップ 1：

1. 中性グリースをフレームの下部ブラケットカップ内に塗布します。
2. 次に、左右のプレスフィット BB アダプタを取り付けます。
3. 適切な工具を使って、角度が付かないよう、両側に均等な圧力を加えながらアダプタを適合します。



注意： これを行うときは、図中の矢印により示されるポイントのみを押してください。これらのポイント以外を押すと、ベアリングのボールレースを損傷する恐れがあります。

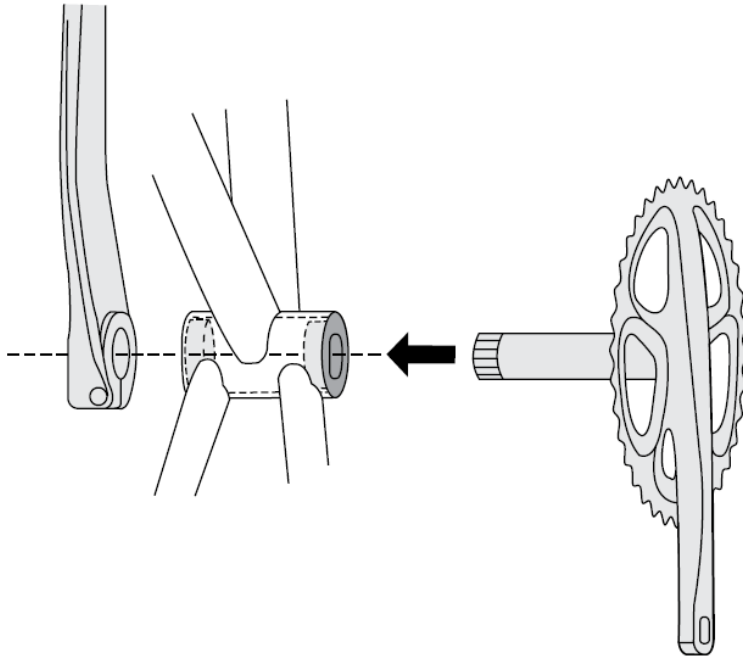


ステップ 2:

前面クランクセットの取り付け:

注: 必ずクランクセットのメーカーにより提供される取り付け手順に従ってください。

注: このマニュアルは、Giant 炭素繊維複合フレームセットに下部ブラケットと取り付けするための情報を提供します。クランクセットの最終取り付け情報については、メーカーの付属ガイドを参照してください。



取り外し

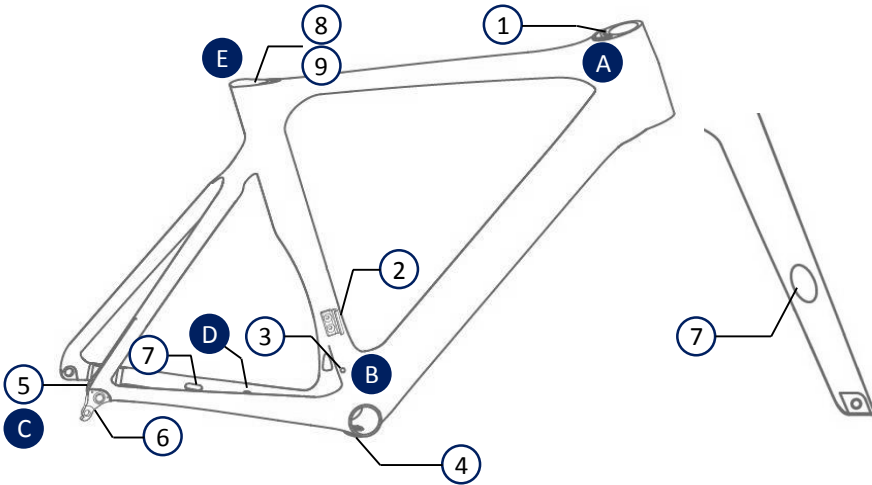
プラント工具を使って、内側からしっかりと押します。

注: 取り外し時に損傷している可能性があるため、アダプタを再使用しないでください。



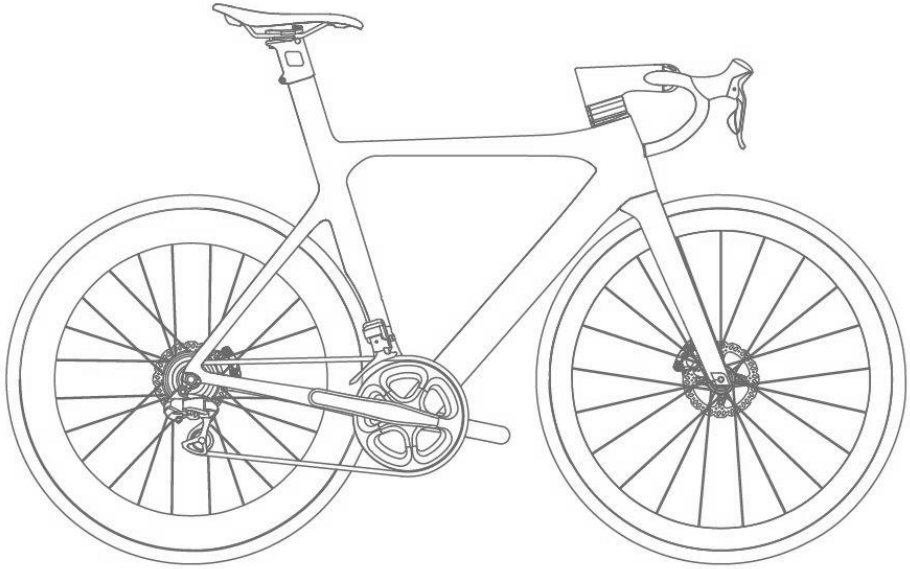
注意: BB アダプタの取り外し中、フレーム/BB シェルの傷または損傷を避けてください。

11 ケーブル配線部品



番号	機械的シフト部品	数量		番号	Di2 アップグレード部品 [小さい箱に入れる]	数量	
1	上部チューブケーブルストッパー	1		A	Di2 グロメット	1	
2	前面ディレイラープレート	1		B	Di2 前面ディレイラーストッパー	1	
3	Di2 埃キャップ	1		C	Di2 背面ディレイラーストッパー	1	
4	BB ケーブルガイド	1		E	Di2 シートポストバッテリーホルダー	1	
5	ディレイラーケーブルストッパー	1		番号	その他の部品		
6	背面ドロップアウト	1		D	背面感知プラグ	1	
7	油圧ブレークホースプラグ	2					
8	シートポスト防水ラバーシール	1					
9	ISC クランプ	1					

12 フレーム技術データ



シリーズ	Propel Advanced SL Disc					
ヘッド部品直径	Ø42/ Ø47					
シートポスト直径	Giant Aero ISP					
前面ディレイラー直径	直付け					
背面O.L.D	142					
RC長さ	405					
最大タイヤサイズ	700x25C					
キャリアタイプ	フラットマウント					
ロータータイプ	中央ロック					
商用サイズ	XS	S	M	ML	L	XL
ヘッドチューブ長さ (mm)	120	135	150	170	185	200
上部チューブ水平長さ (mm)	515	535	555	570	585	605
シード角度 (度)	74.5	73.5	73	72.5	72.5	72
ヘッド角度 (度)	71	72.5	73	73	73	73